

GSC020-P09

会場:コンベンションホール

時間: 5月23日17:15-18:45

地磁気の可視化と理解-Google Earthを使った例-

Visualization for comprehension of geomagnetic fields by Google Earth

畠山 唯達^{1*}

Tadahiro Hatakeyama^{1*}

¹岡山理科大学情報処理センター

¹IPC, Okayama Univ. Sci.

地球磁場はさまざまな時間スケールで大きく変動している。このことは地球科学に関わる研究者は勿論、学生の間でもごく当然のこととして理解されているが、実際その変動というのはどのように起きているかを感覚的につかむのは大変難しい。ましてや、普段地球磁場というものに関心をあまり持たない一般の人や学生生徒の皆さんに地磁気とそのドラスティックな変化を理解してもらうためには、何らかの知覚化作業が必要である。これまで我々は「MAGE Project」として主にGoogle Earthを利用した3次元視覚化に注力してきた。地磁気を"感じる"最適な表現法はやはり磁力線であると考えられるが、ここではこれまでの成果、特にさまざまな時間スケール(100, 400, 2000, 7000年など)による地磁気変動モデルが表す磁力線変化の違いなどを感じられるような可視化方法を模索したものを示す。また、地球科学現象についてアウトリーチや教育をする場合、単に教材(ここではGoogle Earthで読み込む地磁気変動を表すKMLファイル)を配布するだけでは期待する効果を得ることはできない。そこで、配布しているホームページで解説を加え、より取っ付き易くなるようにしている取り組みについても紹介する。

キーワード:地磁気,教育,アウトリーチ,可視化,グーグルアース

Keywords: geomagnetic field, education, outreach, visualization, Google Earth